

「学級・学校文化を創る特別活動（中学校編）」 —学級活動の基本 話し合い活動を中心にして— （教員向けリーフレット）について

国立教育政策研究所教育課程研究センターでは、中学校における「特別活動」について、教員向けのリーフレット（「学級・学校文化を創る特別活動（中学校編）」）を作成しました。同研究所が中学校の特別活動について、教員向けリーフレットを作成するのは、今回が初めてとなります。

今後、リーフレットを全国の中学校及び教育委員会に配布し、特別活動の推進・充実を図ります。また、研究所ウェブサイトの中で広く一般にも公開する予定です。

1 作成の趣旨

特別活動（学級活動、生徒会活動、学校行事）は、生徒の自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築き、いじめや不登校などの問題に対する予防的な役割を果たすなど、生徒の成長に欠かせない大切な教育活動です。

このうち、学級活動は、望ましい人間関係づくり、学習や生活へのよりよい方向付けと健康や安全を確保する学級経営と密接に関連しています。また、教科担任制となる中学校において、学級担任が学級に関わる機会は限られているからこそ、学級活動を重視する必要があります。

そこで、本資料では、特別活動の中でも「学級活動」に焦点化を図って指導のポイント等を解説しています。さらに、互いの意見の違いを超え、よさを生かしながら合意形成を図ったり、効果的に自己決定につなげたりする「話し合い活動」を特に意識して編集しています。

今後、各中学校において、本リーフレットが有効に活用され、効果的な特別活動が展開されることを期待しています。

2 主な特徴（内容については別紙参照）

- 学級活動（特に話し合い活動）に焦点化
- 指導のポイントを見開きページで解説
- 写真や図などを活用し、視覚的な理解のしやすさを意図
- 学習指導案の作成の基本を分かりやすく解説

3 今後の予定

- 国立教育政策研究所のウェブサイト(<http://www.nier.go.jp/>)に掲載予定（7月上旬）
- 全国の教育委員会及び中学校に送付（7月中）
- 本リーフレットの内容を更に詳細に解説した指導資料を作成予定（今年度中）

（お問合せ）

国立教育政策研究所教育課程研究センター

研究開発課長 五十嵐祐子 電話：03-6733-6821（直通）

研究開発課指導係長 伊倉 剛 電話：03-6733-6825（直通）

〔広報担当〕企画室 企画・広報係 電話：03-6733-6925（直通）

【学級・学校文化を創る特別活動（中学校編）の構成及び内容について】

p. 1 学級・学校文化を創る特別活動

特別活動は、例えば、「生徒の人格的、社会的な自立を培う」、「自主的、実践的な態度を育む」、「魅力ある学級・学校づくりを実現する」など、学校教育の基盤的な役割を果たすことについて解説しています。

pp. 3-4 学級活動は学級経営の要

「学級活動で大事にしたいこと」を確認するとともに、意見の違いを超え、望ましい人間関係につなぐ「話し合い活動」の重要性等について解説しています。

pp. 5-6 「話し合い活動」のすすめ

学級活動における「話し合い活動」の基本的な活動過程や指導のポイントを解説しています。

pp. 7-8 事例：学級生活を見直そう（学級活動（1）ア）

「いじめや暴力のない学級・学校づくり」に関する「話し合い活動」を例に、事前や事後の指導も含めた指導の展開例を解説しています。

pp. 9-10 事例：自分に合った学習方法を考えよう（学級活動（3）イ）

「学習意欲の向上」に関する「話し合い活動」を例に、事前や事後の指導も含めた指導の展開例を解説しています。

pp. 11-12 学級活動指導案作成の基本

学級活動の指導案の例を示しつつ、学級活動指導案の特色や、作成に当たって留意事項等について解説しています。

pp. 13-14 Q & A ～疑問にお答えします～

「集団としての意見をまとめる話し合い活動はどうやるの?」「話し合い活動の準備の時間が取れません。どうすればいいの?」など、特別活動の指導に当たってのポイントをQ & A形式で解説しています。